



2026年 8 月12日

各 位

会 社 名 日本エアーテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 平沢 真也
(コード：6291 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 管理本部長 二渡 輝
(TEL:03-3872-9192)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年12月22日に公表しました当社の「中期経営計画（2024年～2028年）」（以下、前期中計）を更新し、新たに「中期経営計画（2027年～2031年）」（以下、新中計）を策定することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新中計策定の背景

当社は、2026年 5 月15日公表の2026年12月期第 1 四半期決算短信において、前期中計の修正の必要性について検討している旨を開示いたしました。前期中計を公表した2023年と比較して国内外の政治・経済・社会情勢及び市場状況が一変したほか、上場企業に求められる開示基準の変更も進展していることによるものです。当社は、こうした事業環境の構造的変化に対応しつつ、業績拡大及び企業価値向上を達成するために、新中計を策定し、新たな戦略と方針のもと、持続的な成長を目指すことを決議いたしました。当社は向こう 5 年間、人的資本への投資を積極的に行い会社の基盤づくりを進めるとともに、工場及びシステム等への設備投資を積極的に推進してまいります。

2. 新中計の基本方針

(1) 業績目標

- ・ 2031年12月期の売上高190億円、同営業利益17億円

(2) 成長戦略

- ・ 成長領域への事業展開加速
- ・ 差別化による既存事業の収益力強化
- ・ 製品開発・研究開発の強化
- ・ 海外市場開拓に向けたグローバル連携強化

（３）基盤戦略

- ・生産能力の向上と収益性改善
- ・次世代人材の育成・技術継承
- ・サステナビリティ経営の推進

３．今後の取組み

新中計の達成に向けた取組み内容につきましては、添付の「中期経営計画（2027年～2031年）」に記載のとおりです。

以 上



AIRTECH

中期経営計画（2027年－2031年）

2026年8月12日

代表取締役社長 平沢 真也

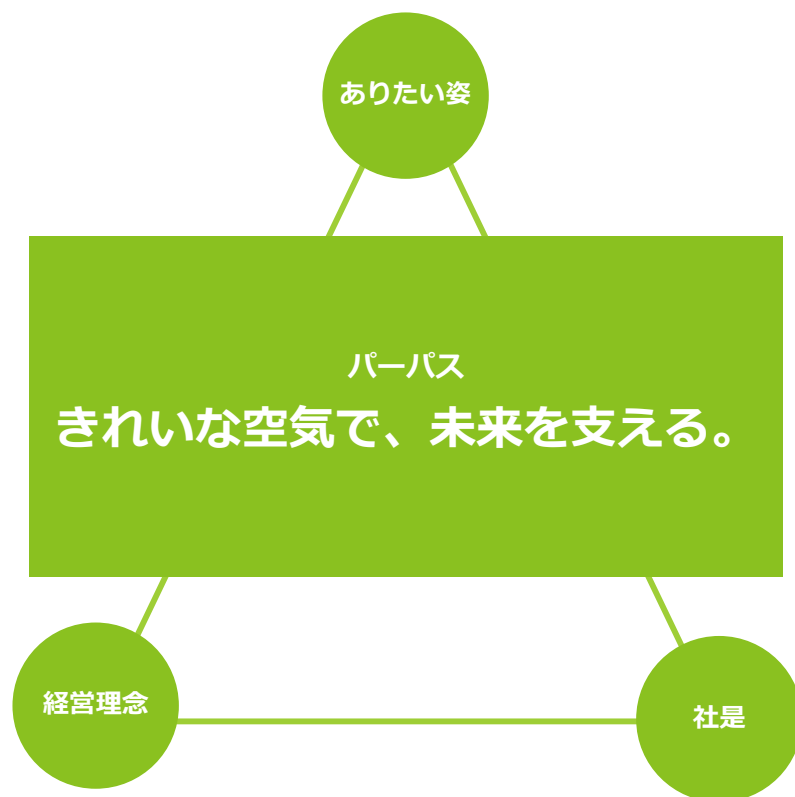
日本エアーテック株式会社

東証スタンダード 証券コード6291

きれいな空気で、未来を支える。

私たちの創る装置は、エネルギーを大切に使い、先端技術と産業の革新を支え、感染症から人々を守り、食の安全を確かなものとします。この先もそれらの技術をさらに発展させ、世界の人々に安全で安心な暮らしのある未来を支えつづけます。





Vision - ありたい姿

最先端の技術力を追求することで、さまざまな社会課題の解決につながる革新的な製品やサービスを、より多くのお客様にご利用いただけるよう次々に提供し、あらゆる社会のニーズに応えられる企業でありたい。

そのために、研究開発の促進、人材の育成、新規事業への挑戦など、社会変化に応じながら様々な施策を実行し続ける。社会のサステナビリティと同調しつつ事業活動を通じてお客様に満足いただき、社員一人ひとりが仕事を通じた社会貢献にやりがいを感じられる企業を目指す。

社是

世界に通用するクリーンエアシステム技術を確立し、社会に貢献する。

経営理念

- ・ 株式会社本来の目的を達成する。（従業員、株主、取引先及び社会貢献）
- ・ 技術の進歩は実験・研究を主とする経験から生まれる。
- ・ 顧客の要求に合った製品の開発を行う。
- ・ 人材の育成は創造、継続、忍耐を重点とする。

事業紹介

AIRTECH

私たちは「クリーンエアーシステム」という専門性の高い分野において、クリーン機器の製造販売、クリーンルームの施工と提案など多彩な製品やサービスを提供しています。

日本で唯一のクリーンエアーシステム専門メーカー



クリーンルーム



エアーシャワー



サーマルクリーンチャンバー



クリーンブース



MAC シリーズ



安全キャビネット



バイオクリーンベンチ



エアーカーテン



クリーンパーティション



無菌アイソレーター

豊富な製品群

技術力・ノウハウ

品質・安全性への対応

グローバル対応

事業紹介

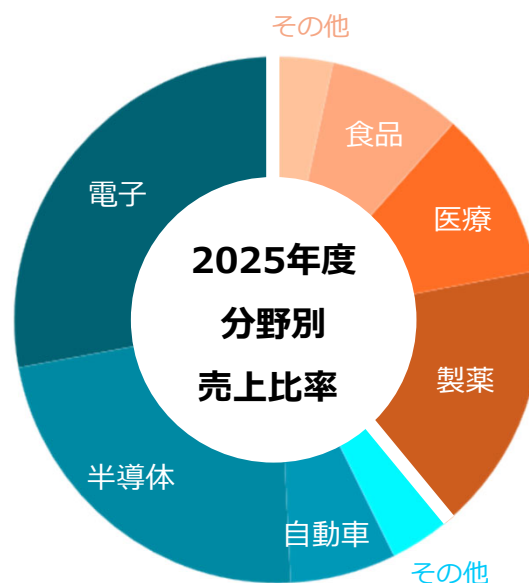
AIRTECH

電子・半導体分野の精密機器工場や製薬・医療・食品領域などの高い清浄環境を必要とする現場に、きれいな空気と設備を提供しています。

電子工業分野 | 61%

清浄度や温湿度を一定に保ち、電子部品・半導体・液晶分野など高い清浄度を必要とする製造環境を支えています。

- 電子分野 27.9%
- 半導体分野 22.9%
- 自動車分野 6.5%
- その他 3.7%



バイオリジカル分野 | 39%

病院や研究機関等の環境に、気密・エアロバリア技術を用いた無菌の清浄空間を提供しています。

- 製薬分野 17.0%
- 医療分野 10.4%
- 食品分野 8.2%
- その他 3.4%



5つのマテリアリティ（重要課題）

AIRTECH

01

最先端の技術を追求し続ける

最先端のクリーンエアー技術で多様な産業の高度な要求に応え続ける。

02

全ての社員が自己実現できる環境を追求する

社員一人ひとりが誇りを持ち能力を最大限発揮できる環境を整える。

03

ステークホルダーと価値協創する

多様なパートナーと協働し社会と顧客へ新たな価値を創出する。

04

脱炭素社会実現に積極的に貢献する

省エネ技術で温室効果ガス削減に貢献し脱炭素社会を支える。

05

ガバナンスで信頼を築く

法令遵守とリスク管理を徹底し持続的成長と社会の信頼を築く。

中期経営計画 2027年～2031年

AIRTECH

中期経営計画(2027-2031)全体像

AIRTECH

(2027-2031)

持続的成長を目指す中期経営計画



売上高
190 億円



営業利益
17 億円

成長戦略



01
03

成長領域への
事業展開加速



01
03

差別化による
既存事業の収益力強化



01
03

製品開発・
研究開発の強化



01
03

海外市場開拓に向けた
グローバル連携強化

基盤戦略



生産能力の向上と
収益性改善

01
04



次世代人材の
育成・技術継承

01
02



サステナビリティ
経営の推進

02
04
05

01 最先端の技術を追求し続ける 02 全ての社員が自己実現できる環境を追求する 03 ステークホルダーと価値協創する 04 脱炭素社会実現に積極的に貢献する 05 ガバナンスで信頼を築く

成長戦略

AIRTECH



成長領域への
事業展開加速

- より高度な空気環境と信頼性が求められる半導体分野へ、
当社の空気環境制御技術を活かしたクリーンエアーシステムの市場展開
- 大規模空間の構築力を活かしたクリーンルームの導入拡大
- 高度クリーン環境向けロボット掃除機の需要創出と普及拡大
- オープンイノベーションによる事業領域の拡張



差別化による
既存事業の
収益力強化

- 電子工業分野における品質向上に貢献するクリーンエアーシステムの展開強化
- 製薬・医療分野における研究開発および製造用クリーンエアーシステムの改良と市場展開
- 食品分野の異物混入防止に寄与する製品の提案強化と新規導入拡大
- 導入済み製品のメンテナンスサービスの強化
- 保守・点検・更新サービス強化によるストックビジネスの拡充
 - 定期点検・フィルター交換サービス
 - 製品別メンテナンスメニューと供給体制の整備



成長戦略

AIRTECH



製品開発・ 研究開発の強化

- 2031年にかけて研究開発投資を2025年度比1.5倍に拡大し、成長領域への技術開発を加速
- 研究開発体制強化による製品増加と開発期間の短縮
- 特殊案件で培われた高い技術力や知見を活かした高付加価値製品の創出
- 市場変化を見据えた研究開発・製品開発
 - ロボット技術の応用 / 海外向けFFU /
 - 省エネ型超精密空調機 / IoTを活用したクリーンエアーシステム



海外市場開拓に 向けたグローバル 連携強化

- 海外事業体制の確立による売上成長の加速
- 海外関係会社等との連携による市場ニーズ開拓・製品開発
- 欧米・東南アジア市場向け製品開発と販路拡大による収益拡大

基盤戦略

AIRTECH



生産能力の向上 と収益性改善

生産能力の向上

- ・赤城スマートファクトリー第二工場の稼働による生産体制
- ・標準品生産ラインの集約化と適正配置
- ・既存工場の改修・建屋統合等の検討

物流体制の最適化

- ・赤城スマートファクトリー新倉庫の稼働による物流体制強化と最適化
- ・倉庫再編・輸送効率改善による物流コスト削減



次世代人材の 育成・技術継承

魅力ある会社づくり

- ・新人事評価制度の導入
- ・多様な働き方や勤務体系の整備
- ・スキルアップ・キャリア形成支援制度の拡充

採用力の強化

- ・採用活動を支える組織体制の強化
- ・人材獲得チャネルの拡充による多様な人材へのアプローチ
- ・採用活動における自社の魅力や価値の発信

次世代・専門人材の育成

- ・次世代及び専門人材の計画的育成プログラムの構築
- ・若手・中堅人材への技術継承機会の拡充

基盤戦略

AIRTECH



サステナビリティ 経営の推進

環境

Environment

- GX・脱炭素社会実現への貢献
- 自社拠点の脱炭素化推進

社会

Social

- 社会的価値創造に貢献する製品の提供
- ステークホルダーエンゲージメントの強化
- 人的資本経営による人と組織の持続的な成長

ガバナンス

Governance

- 持続的な企業価値向上を支える経営基盤と事業基盤の構築
- 持続可能なサプライチェーンの構築

AIRTECH

電子工業から再生医療まであらゆるシーンで
求められるクリーンな空気環境にお応えします。



本資料に関するお問合せ
日本エアーテック株式会社
管理本部 Email: lrinfo@airtech.co.jp

本資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社独自の判断に基づくものであり、経済状況や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従いまして、記載された将来の予想数値・試作の実現を確約したり、保証するものではありません。